

やちよ

へあ

ありのままの自分であるために

性別は長い間、男性と女性に分けられてきましたが、人間の性はもっと複雑で多様だということがわかってきました。最近の研究では、あいまいな境界を持ちながら連続しているという新しい概念へと変化しています。

性的マイノリティ（少数派）の人は約8%と、左利きの人の割合に近いと言われます。みんながありのままの自分であるために「性別は男か女、好きになるのは異性」という思い込みから生まれる、差別や偏見をなくしていく必要があります。



ナイスさんかく

みんなの声に気づいて
ほしいんです

戸籍では男性。でも
心は女性。自分は何
者なんだろう

男の子が好きって
友だちは言うけど、
女の子にドキ
ドキする

見た目で男と
か女とか決め
つけないで

性別？自分でもよ
くわからないんだ

好きになる人に
性別なんて
関係ないよ

スカートをはかない
の？って聞かれるけ
ど、別にはきたくな
いんだよ

八千代市在住で
ミスター・ゲイ・ジャパン2021
グランプリのHiroさん

☆やちよぺあ「座談会」☆

“今までのこと・これからのこと”についてお聞きしました。



▲左からMiyaさん、Hiroさん、小杉所長（令和3年12月1日）

子どものころから異性の遊びの方が好きでしたね

所長：男女共同参画センター所長の小杉です。この座談会は、性の多様性について広く理解してもらうために企画しました。性的マイノリティについての話になると、自分の周りにはいないという声が多いんです。でも実際は、本当のことを言えない人がたくさんいるんだと思います。

今日は、当事者のHiroさんとMiyaさんから、今までのことやこれからのことについて、お話を聞かせていただきます。お二人とも、どうぞよろしくをお願いします。

Hiro・Miya：よろしくをお願いします。

所長：始めに、お二人が周囲の人や友だちと少し違うのかなと感じたのはいつごろだったんですか。

Hiro：保育園のときには、セーラームーンごっこが好きで男の子と遊ぶよりも女の子とよく遊んでいました。高校は制服がかわいい学校を選びました。文化祭で女子の制服が着られたりするかな、なんて少し期待したりして。誰が好きとかいうことで、悩んだことはないですね。

Miya：最初感じたのは、小学校6年生の卒業間近のときで、担任の女性の先生にドキドキしてもしかしたらって。なんとなく身体と心が合致していないという感じがして、どっちを好きになったらいいのか悩んだのが、それくらいの時期でしたね。

以前から、男っぽいと言われていたし男の子と遊ぶことが多かったです。Hiroさんとは反対で、仮面ライダーとか戦隊ものが好きで、先頭に立ってやっていました。

所長：お二人ともカミングアウトはされたんですか。

Hiro：20歳ぐらいのときだと思うんですけど、最初は部活で仲良かった女の子とか話しやすい人に言いました。男の子には、どう話せばいいかわからなかったし、好意を持



《座談会メンバーの紹介》

Hiroさん：身体の性は男性、恋愛の対象は男性。ミスター・ゲイ・ジャパン2021のグランプリに選ばれました。日本で同性婚が認められるための活動をしています。八千代市出身、30代。

Miyaさん：身体の性は女性、性自認は男性。1年ほど前に、性同一性障害という診断を受けました。今は、同じ悩みを持つ人たちの力になりたいと考えています。高校から八千代市在住、40代。

進行：八千代市男女共同参画センター所長



っていると勘違いされると面倒だったので。

そうしたら「昔から変わってるって思ってたから、別に今さら言われても驚かない」という感じでした。

じゃあ、部活のOB会でみんなにも言ってみようと思って話してみたら、ゲイということに驚かずに「やっぱりそうだったんだ」と。高校生のとき彼女がいたんですけど、彼氏らしく接していなかったこととかを、みんな知っていたので「男の子が好きなら、ああなるよね」と納得していました。カミングアウトして、そのときの答え合わせをした感じですね。彼女とは、一緒にプリクラを撮ったりして、仲のいい友だちという感覚だったんです。相手にとっては恋愛だったから、申し訳なかったです。今でも「彼女、大変だったよね〜」って言われます。

所長：ご家族に話したのも同じころですか。

Hiro：知っていたようですが、ちゃんと言ったのは25~27歳です。面と向かって言ったというわけではなく、法事などで集まったときにです。SNSでつながっている兄弟もいるので、自然に広がっていききましたね。親戚も「5人兄弟だから一人ぐらいいるんじゃない。これだけ親戚がいて、一人もいないのはおかしいよ」と感じてました。

Miya：父はすでに他界していたので、1年くらい前に母親に話しました。カミングアウトのきっかけは、自分ががんになったことと、このままの自分を認めてくれる人を見つけられたことです。もう、嘘をついて生きるの嫌だなんて思って。母には、性同一性障害だとは思わなかったと言われました。夫と娘たちにも言いました。娘たちはもう大



本当の自分をかくして
生きなきゃならなかったら、
すごく苦しいな。

人ですが、子どもたちからしたら母親なわけですから、つらい思いをさせてしまったという後悔もあります。その半面、本当は男なのに、やっぱり認めてもらえないのかという思いもあって苦しいです。

所長：お互いにつらいですね。

Miya：結婚する前に、女性と付き合ったことがありますが「あなたと結婚しても子どもが産めない」とか、おかしいとかいろいろ言われて深く傷つきました。そのとき、やっぱり生きていくためには、心と身体が合っていないとだめなのかなと思って。戸籍上そうだから、やっぱり男の人と結婚しないといけないんだと、あきらめちゃったんですよ。それで結婚して。そうすると、両親からしたら孫の顔が見たいということになるじゃないですか。だから、本当の気持ちはずっと閉じ込めてきました。

所長：ご自分の苦しみを話せる相手も、気持ちを出せる場もなくて、今までずっと一人がまんしてきたんですね。

Hiroさんの最終目標は「日本で同性婚が認められること」

所長：Hiroさんは、ミスター・ゲイ・ジャパン2021のグランプリということですが、このコンテストに応募したきっかけはなんだったんですか。

Hiro：もともとコンテストが好きで、ミスター・コンテストにも出ていたんですが、海外だとニューハーフのコンテストもあるし、日本にはないのかなと思って調べました。

ミスター・ゲイ・ジャパン日本大会が始まったのは2018年からです。2020年はコロナで開催できなくて、2021年はオンラインでの開催でした。会の目的は、日本のLGBTQ+にとっての環境改善と同性婚への理解促進です。2020年8月には同性婚理解に関する署名活動を行い、2021年3月には約2万7000人の署名と要望書を法務省に提出しました。

私もこの署名活動に参加しました。この他にも裁判の傍聴に行ったり、九州レインボープライド（LGBTを始めとする、多様な人たちが自分らしく生きられる社会の実現を目指すイベント）でオンラインスピーチをしたりしました。グランプリに選ばれたのは、こうした総合的な活動が認められたということだと思います。

所長：今はどんな活動をされていますか。

Hiro：最終目標は「日本で同性婚が認められること」です。でも、一人の力じゃ難しいので、興味を持ってもらえるよう、今進められている裁判を傍聴して、SNSで発信しています。裁判をもっと身近に感じてもらえたらと思って、傍聴までの流れとか、豆知識みたいなことを説明していますが、これからも、行ってみようかなと思ってくれる人が増えるようなことを発信していきたいです。

八千代市では、パートナーシップ協定の導入を進めたいかなと思っています。当事者同士が受けられるサービスを増やしてほしい。パートナーと一緒に家も借りられないんです。男性同士だと特に難しいです。

周囲からどう見られているのか 気になるトイレ



所長：ふだんの生活の中で感じることもありますか。

Hiro：女子会プランのときに、私だけ男性料金みたいな。すごく仲のいいグループなんだけど、心は女性でも周りから見たら男性なんぞと言われて、同じサービスを受けられなくて。生きづらさとかは感じないんですけど「なんなの～？」っていう、些細なことがありますね。

Miya：以前は、無理して女子トイレを使っていましたが、かかりつけの医師に相談したら「自分の入りたい方に入ればいいんだよ」と言われて、それから男子トイレを使うようになりました。でも、どう見られているのか気になって、ちょっとちぢこまりながら入ってる感じです。

Hiro：男性は気にしてないと思いますよ。悩む必要はないです。自分が使いたい方に入ればいいんです。

所長：トイレについては、困っている人が多いようですね。ありのままの自分を出していくことは、とても大切ということでもあり、難しいことでもあるんですね。

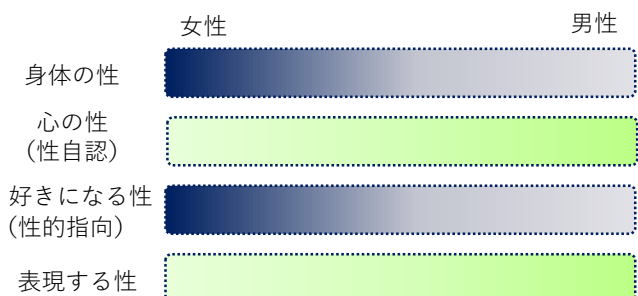
大切な人たちの言葉で ありのままの自分に自信が持てました

所長：今の自分で良かったと思うことを教えてください。

Hiro：以前、軽い感じで性転換して女子になろうかなと親に言ったら「その肩幅は手術ではどうにもならないよ。だ

性のあり方は グラデーションです

LGBTQと総称される、レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クエスチョニングの人たちが特別というわけではなく、誰もが多様な性を生きています。性には右の図のような、4つの主要要素があります。性のあり方は、段階的に色が変わっていく様子に例えられグラデーションと言われます。人によって感じ方に差がありその違いが性の多様性です。全ての性の総称を「SOGI」、ソジヤソギといいます。



だったら男性のままの方が良いじゃない」と。誰に聞いても同じようなことを言うから、自分の性はどっちでもいくなって思ってます。好きな人が好きだったらそれでいいって。自分の姿が男でも女でも、好きな気持ちを曲げないで生きているところや、自分に自信を持って生きているところは良かったと思います。だけど、みんながみんなそうじゃないし、それですごく悩んで自殺してしまう人もいるような社会だから、そういう人が生きやすい世の中になるように活動していけたらいいなと思っています。

反対意見の人もいますが、友だちからの意見やアドバイスは一回振り返って考えたりしますが、それ以外のことはあまり気にせずに行っています。

Miya：ありのままの自分を認めてくれる人に、出会えたことです。今の自分じゃなかったら会えなかった。自分のことをこのままでいいんだと言ってくれた人だし、性別じゃなくて、一人の人間として見てくれた唯一の理解者です。性転換なんてなくていい、どう見たって男だと言ってくれたのがすごく救いだった。自信を持つことができました。

所長：もし、その人がいなかったら、カミングアウトはしなかったですか。

Miya：しなかったですね。誰にも言わなかった。

今度は自分が悩んでいる人の支えになりたい



Hiro：去年と今年で、知り合いが10人くらい亡くなっています。社会的不安、収入が安定しない、仕事も限定されるからというところに原因があるようで、ストレスでお酒を飲み過ぎたりして体を壊し、早く亡くなる人が多いんですよ。誰でも働きやすい社会になったらいいのに。

子どもたちには、正しい知識を持ってほしいです。性自認ができる前に、誰のこともちゃんと一人の人として見ることの大切さを伝えたいです。相談窓口を使えるようになってくるときには、好きな人がいたりして本当に悩んでいる、自殺を考える直前だったりするので、もっと早い段階で情報を得る機会を提供できたらいいなと思うんですよね。

所長：埼玉県では、取組が進んでいるそうですね。

Hiro：ええ、性的マイノリティの人を支援している企業

には、意思を表すステッカーが貼ってあったりします。お店に貼ってあると、同性同士でも気にしないで安心して入れます。八千代市では、見たことないですね。



▲市販のレインボーステッカー

所長：知らなかったりするんで、話せば協力してくれるお店もあると思います。

Miyaさんはいかがですか。

Miya：本来、大勢でつるむのは好きじゃないんですけど、同じように苦しんでいる人に「俺もそんなだよ」と言えたら、その人は少しは楽になるんじゃないかと思っています。自分が若いときは、性同一性障害という言葉も聞かなかったから、そういう人がいても気づけなかったし、話せる場所もなかった。でも、今は性同一性障害のことを多くの人が知っているから「俺がいるから大丈夫だよ」って言ったら、そういう人もいづらか安心できるかもしれない。実は好きな人がいるんだけどなんて、そんなたわいもないことでいいから、自分の気持ちを出せる場をこれからつくれたらと思っています。

所長：説得力があるって思いました。Miyaさんは、やちよペアの「性のあり方はグラデーション」を見て、電話してくださったんですね。今回の記事を読んだ人たちが集まって、そういう場が実現できたらうれしいですね。もし、連絡があったら、お二人にお知らせします。今日は、貴重なお時間をいただき、ほんとうにありがとうございました。

HiroさんとMiyaさんおすすめの漫画・小説・映画

「きのう何食べた？」カップルで暮らす男性の食生活をめぐる物語。主人公が作る料理もおいしそう。

「うちの息子は、たぶんゲイ」夫は単身赴任。ふだん息子2人と暮らすお母さんは「うちの息子はたぶんゲイで、素直でとってもかわいい」と思っています。言葉が優しく、読みやすいです。

「彼女が好きなものはホモであって僕ではない」同性愛者であることを隠して生活している高校生と、ボーイズ・ラブの好きな同級生が付き合うお話。

映画「his」好きな人と一緒に生きていくために、社会と向き合おうとする男性二人の姿を描いています。

男女共同参画だより やちよペア (No.45 令和3年冬号)

【発行】八千代市男女共同参画センター

電話：047-485-7088

FAX：047-485-7398

所在地：八千代市八千代台南1-11-6

(八千代台東南公共センター4階)

▼八千代市ホームページ
男女共同参画センター

